

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

| | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|------|-------|------|
| 評価対象事務事業名 | 国保運営協議会事務 | | | 事業コード | 0217 |
| 担当課等 | 所属名 | 市民部 健康保険課 | 担当係名 | | |
| | 課長名 | 市民部 健康保険課 | 担当者名 | 藤原 真人 | 電話番号 |

1. 事務事業の基本情報

| | | | | | | |
|--|---|-----------------|----------|-------------|--|----------|
| 総合計画体系 | 施策の柱 | いきいきとして安心できる暮らし | コード 1 | 施策 | 暮らしを支える制度の充実と自立支援 | コード 5 |
| | 基本事業 | 国保制度の健全運営 | コード 2 | 関連予算 費目名 | 国民健康保険費特別会計 1款 3項 1目 国保運営協議会事務(001-01) | |
| | 特記事項 | | | | | |
| 事業期間 | <input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 28年度～) | | | | | |
| 事務事業の概要 | 市長の諮問機関であり国保事業の運営に関する重要事項を審議する運営協議会を開催する。研修等により協議会委員の研鑽を図る。 | | | | | |
| 根拠法令等 | 国民健康保険法第11条 盛岡市国民健康保険条例第2条 | | | | | |
| この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか) | | | | | | |
| 国民健康保険法は昭和34年1月1日施行、盛岡市国民健康保険条例は昭和34年4月1日施行であるが、盛岡市が国民健康保険事業を開始した当時より運営協議会を設置している。 | | | | | | |
| この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか | | | | | | |
| なし。 | | | | | | |
| 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか | | | | | | |
| 旧玉山村との合併に伴い、対象者(運営委員)を18名から21名に増員していたが、この措置は平成22年12月31日までのものとなっており、現在は18名になっている。 | | | | | | |

2. 事務事業の実施状況(Do)

| | | | | | |
|---------------------------------------|---|---|--------------------------|---|-------------------------------|
| ①対象 (誰を、何を対象としているのか) | 国民健康保険運営協議会 (委員定数18人)被保険者代表、保険医及び薬剤師代表、公益代表(市議会議員)、被用者保険等保険者代表から構成される。 | ⇒ | ②対象指標 (対象の大きさを示す指標) | A. 運営委員数 B. C. | 単位 人 単位 単位 |
| ③手段 (事務事業の内容、やり方、手順) | 22年度実績(22年度に行った主な活動) ①運営協議会審議事項に係る資料の作成、開催通知等準備事務 ②運営協議会の開催 ③研修会等の計画及び実施 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ①運営協議会審議事項に係る資料の作成、開催通知等準備事務 ②運営協議会の開催 ③研修会等の計画及び実施 | ⇒ | ④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標) | A. 協議会開催回数 B. 協議会出席者数 C. 研修会等参加者数 | 単位 回 単位 人 単位 人 |
| ⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか) | ・住民の各側の代表により運営に関する重要事項を審議してもらい、それぞれの立場の利害を調整することにより国保事業運営を円滑に進める。 ・研修や視察を通して事業運営等についての知識や理解をより深め、審議を活性化し答申へ反映させる。 | ⇒ | ⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標) | A. 協議会出席率=出席者数/(委員数×開催回数) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 B. 審議等件数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 C. 研修会等参加率=参加者数/委員数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 | 単位 % 単位 件 単位 % |
| ⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか) | 健全に運営される | ⇒ | ⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標) | 保険者負担額(単位:千円) 1人当たり療養諸費用額(単位:円) 現年度収納率(単位:%) 実質単年度収支額(単位:千円) | |

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

| 区分 | 指標名 | 単位 | 20 年度実績 | 21 年度実績 | 22 年度計画 | 22 年度実績 | 23 年度計画 | 24 年度計画 | 目標年度 目標値 |
|-----------|------------------------|----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 対象 指標A | 運営委員数 | 人 | 21 | 21 | 21 | 21 | 18 | 18 | 26年度 |
| | | | | | | | | | 18 |
| 対象 指標B | | | | | | | | | 年度 |
| 対象 指標C | | | | | | | | | 年度 |
| 活動 指標A | 協議会開催回数 | 回 | 2 | 3 | 4 | 2 | 4 | 4 | 26年度 |
| | | | | | | | | | 4 |
| 活動 指標B | 協議会出席者数 | 人 | 36 | 52 | 78 | 33 | 72 | 72 | 26年度 |
| | | | | | | | | | 72 |
| 活動 指標C | 研修会等参加者数 | 人 | 13 | 13 | 21 | 11 | 18 | 18 | 26年度 |
| | | | | | | | | | 18 |
| 成果 指標A | 協議会出席率=出席者数/(委員数×開催回数) | % | 86 | 83 | 100 | 85 | 100 | 100 | 26年度 |
| | | | | | | | | | 100 |
| 成果 指標B | 審議等件数 | 件 | 5 | 10 | 10 | 6 | 10 | 10 | 26年度 |
| | | | | | | | | | 10 |
| 成果 指標C | 研修会等参加率=参加者数/委員数 | % | 62 | 62 | 100 | 52 | 100 | 100 | 26年度 |
| | | | | | | | | | 100 |

⑩事務事業に係る事業費

| 区分 | 指標名 | 単位 | 20 年度実績 | 21 年度実績 | 22 年度計画 | 22 年度実績 | 23 年度計画 | 24 年度計画 | ***** |
|----------|--------------------------|----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------|
| 事業費 | A | 千円 | 678 | 571 | 802 | 431 | 673 | 673 | ***** |
| 財源 内訳 | ④国 | 千円 | | | | | | | ***** |
| | ⑤県 | 千円 | | | | | | | ***** |
| | ⑥地方債 | 千円 | | | | | | | ***** |
| | ⑦一般財源 | 千円 | 678 | 571 | 802 | 431 | 673 | 673 | ***** |
| | ⑧その他 | 千円 | | | | | | | ***** |
| | 合計(④~⑧)(=A) | 千円 | 678 | 571 | 802 | 431 | 673 | 673 | ***** |
| | 延べ業務時間数 | 時間 | 226 | 300 | 200 | 200 | 200 | 200 | ***** |
| | 職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む) | 千円 | 904 | 1,200 | 800 | 800 | 800 | 800 | ***** |
| | トータルコスト(A)+(B) | 千円 | 1,582 | 1,771 | 1,602 | 1,231 | 1,473 | 1,473 | ***** |

3. 事務事業の評価(See)

| | | | |
|-------|---|--|--|
| 必要性評価 | ① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？ | <input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている | 理由: 国保税率等, 国保制度の運営方針等の審議により, 健全運営の一翼を担っている。 |
| | ② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか? 税金を使って達成する目的ですか? | <input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である | ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由: |
| | ③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか? 広げられませんか? また絞らなくてよいですか? | <input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である | ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由: |
| | ④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか? | <input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である | ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由: |
| 有効性評価 | ⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか? | <input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない | 理由: 現状が最善であると考えられる。 |
| | ⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか? | <input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある | その内容: 法令に基づき設置されているため廃止できない。 |
| | ⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国, 県, 市の内部, 民間)はありますか? | <input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない | 事業名: ※類似事業がある場合, その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか? 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: |
| 効率性評価 | ⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか? | <input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない | 理由: 現状が最善であると考えられる。 |
| | ⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか? | <input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない | 理由: 会議資料の作成等のため難しい。 |
| 公平性評価 | ⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか? | <input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない | 理由: 法に基づく事業である。 |
| | ⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか? | <input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない | 理由: 法に基づく事業である。 |

4. 事務事業の改革案(Plan)

| | |
|---------|---|
| 改革／改善方向 | ①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) |
|---------|---|

5. 課長意見

| | | |
|--------------|--|---|
| 一次評価 | (1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり | (2)全体総括(振り返り、反省点) 国民健康保険運営協議会は、年に2、3回程度の開催であり、その中で委員に国保の税率や予算などを説明していく難しさがある。これまでもより分かりやすい資料となるよう努力しているが、今後も継続して工夫してまいりたい。 |
| 今後の方向性と改革改善案 | (3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 ↓ <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 時期: 年度から 方向付けの理由と改革改善の内容 | |